

西濃農林事務所の普及活動状況

平成28年5月31日現在

今月の重点活動

■とぎの輝生産組合 小学生による農業体験学習 大垣市上石津町

「とぎの輝生産組合」は大垣市上石津町時地区の水田担い手のグループで、毎年、一般の小学生とその保護者を対象に農業体験事業を行っている。今年も5月22日に時地区の水田で「田植え体験」を行った。体験者の募集は大垣市内のユニーと連携して行い、父兄を含めて45人の参加者があった。

農業普及課は体験事業の実施に当たり、生産組合とユニー、その他の関係団体との連携を図り、また、当日には稲作の全般と田植え作業の説明を行った。

田植え体験後は、昨年作られたお米で作ったカレーライスを味わい、農業の大切さを確認して終了した。

今後は「稲刈り体験」を実施する予定である。



【農業体験の様子（左：稲作の説明、右：田植え体験）】

多様な担い手づくり

■女性農業経営アドバイザー 上期事業について役員会で検討

5月30日に、西濃ブロック女性農業経営アドバイザー役員会が実施され、上期の事業について調整を行った他、会員が参加する活動についての情報交換がなされた。6月7日に実施する全体会議にて全会員に周知する。

会員の活動としては、農業女子プロジェクト会員である2名が5月24日に東海農業女子ミーティング&交流会に参加し、情報収集を行った。また、6月18日、19日に関ヶ原で開催されるイベントにて「関ヶ原駅前観光交流館（愛称：いざ！関ヶ原）」前にて会員2名が農産物の販売を予定している。

上期のブロック全体活動としては、7月に視察研修、8月に若手農業女性との交流会を計画する。

■営農システム確立サポート 関ヶ原町の法人活動強化 関ヶ原町

関ヶ原町松尾地区において、既存の任意組織である営農組合の法人化が検討されており、農林事務所も集落営農システム確立サポート事業により支援を行っている。

5月7日に第3回目の設立準備委員会を開催し、目論見書や定款、規約等内容の修正チェック等を行い、収支計画案も検討した。さらに、5月21日に地元住民にむけた説明会を実施し、法人化の周知と地域合意を図った。

他方、平成18年に法人化した関ヶ原東部営農組合については、5月15日に総会が開催され、今後のかじ取りをどう行っていくか熱心な議論が行われた。今後、農地集積の一層の促進と、飼料用米の増産へのシフトを行い、一層の経営の安定化を図っていく。

■(株)D I B 梨経営開始に向けた話し合いの実施

現在大垣市曾根町を中心に水稻の作業受託を行っている(株)D I Bが梨部門を新設し、梨経営に取り組む計画がある。

5月9日、17日、24日に(株)D I B社長、梨専属従業員予定者と、本年度に導入予定の防根シートで根域を制限する、根圏制御栽培導入に向けた設置計画について、話し合いを行った。農業普及課からは根圏制御栽培の資料を基に、栽培技術等に関する情報提供を行い、技術導入方法について検討した。

売れるブランドづくり

■小麦 小麦「さとのそら」への品種切り替え支援

西濃管内の小麦は平成 29 年産より「農林 61 号」から「さとのそら」に切り替わる。5 月 18 日の J A 小麦現地検討会では管内の小麦生産者が海津市や大垣市の「さとのそら」実証ほ場を訪問し、生育状況を確認した。農業普及課からは室内研修において今年度の小麦の生育状況を報告するとともに、「さとのそら」の特性や栽培ポイントについて情報提供を行った。



【研修会の様子】

また、4 月の出穂が早く、その後の天候も高温傾向であったことから、登熟も早まっており、農業普及課は J A にしみのと連携し、カンントリーエレベーターの稼働を早め、海津市では 5 月 27 日から刈取りを開始した。今後は適期刈取りが進むように各生産団体と連携していく。

■トマト 海津トマト部会全員研究会開催

海津トマト部会全員研究会が 5 月 18 日に海津営農センターにて開催され、農業普及課は平成 28 年産での新たな取り組みの成果と定植前までの栽培管理（新しい台木及び穂木、糖蜜による還元土壌消毒）について説明をした。特に新たな取り組みとして、「N ターン誘引」は作業労働が軽減できるため生産者の関心も高く、課題や注意点等もあるものの、次年産では、取り組みが拡大するように、部会技術係と連携していく。

■甘長ピーマン 目揃会の開催

5 月 10 日に海津甘長部会の出荷目揃会が行われ、今後の販売方針および共選出荷規格の確認等が行われた。農業普及課は新技術導入普及事業で赤色寒冷紗の実証を行っているが、春先からの高温傾向により出荷が前倒しとなり、病害虫の発生も早くなっていることから、ハウス、トンネルの温度管理、防除対策について講習を行った。出荷は 10 月まで行われ、昨年を上回る 30,280 ケースの出荷が見込まれる。



【選果の目合わせ】

■ブロッコリー ブロッコリー部会総会の開催

ブロッコリー大垣部会総会及び反省会が 5 月 18 日に開催された。反省会において、農業普及課から去年のブロッコリー生育状況、品種別の問題点について説明し、28 年の品種組み立て及び効果的な病害虫防除等について提案した。また、今年度も新品種試験、および被覆資材を用いた出荷調整試験を行い、更なる収穫率向上や安定出荷を目指していく。



【総会の様子】

■いちご 27年産いちご出荷終了 <西濃地域>

西美濃地域の各いちご生産組合の共販出荷は 5 月 10 日前後で終了した。

出荷量は、4 月 30 日現在で前年比海津 107、平田 93、池辺 102、養老 109、輪之内 112、大垣 121 となっており、概ね前年並みである。

農業普及課は各いちご生産組合に対し栽培研究会を開催し、親苗の栽培管理や病害虫防除等の徹底を行った。